

モルデン® 町場用
木造下地防火構造 標準施工要領書

昭和電工建材株式会社

I 施工の目的又は適用箇所

一般木造建築物及びR C造の内外壁モルタル

[適合下地]

1. ラス下地
2. 合板下地
3. コンクリート下地

II 使用材料

1. 材料

モルデン町場用 (25kg/1袋)

2. 機器工具

- (1) 練混作業用機具
- (2) 運搬具
- (3) 作業工具

III 下地造り

1. 木ずり下地造り

(1) 下地の構成

柱及び間柱の間隔が455mmで、その上に木ずり板(杉の小幅板1.4mm×90mm×1800mm)を5~7枚ごとに接続位置を変え、乱継ぎとして柱、間柱ごとに木ずり板1枚につき2本の釘(JIS A 5508 鉄丸釘N50で防錆処理されたもの)で打ち止める。木ずり板の継ぎ目は、6mmとし、木ずり板と木ずり板との隙間(目すかし)は7mmとする。

(2) 下地の点検

- ①不陸がなく、平滑な面ができているか。
- ②木ずり板が柱、又は間柱と交差する箇所に2本の釘で止めてあるか。
- ③開口部では枠添えの柱の次の間柱に木ずり板がついているか。もし不良の場合は補修をする。

2. メタルラス下地造り

(1) 材料

- ①防水紙はアスファルトフェルトでJIS A 6005に合格するものとして30kg品を標準とする。
- ②メタルラスはJIS A 5505に合格するものとし、波形ラス1号を標準とする。

(2) 防水紙の貼り方

- ①防水紙の継ぎ目は縦・横とも90mm重ね、留め付けはタッカーステーブル(肩幅12×足長10mm以上のもの)で、継ぎ目部分では300mm間隔に、その他の箇所では要所に行い、たる

み、シワの無いように貼る。

②防水紙を貼る場合はなるべく1枚のものを上から下へ貼り下げ、水平方向の継ぎ目を設けるときは、下の防水紙を上部の防水紙の内側に挿入する。

③防水紙にキズや破れが生じた場合は、その箇所を切断し、上部の防水紙の内側に挿入して増し貼りをする。

(3) メタルラスの貼り方

①横貼りを原則として千鳥に配置する。

②継ぎ目は縦・横とも45mm重ねて継ぐ。

③ラスの留め付けは下地板にまたくぎ(足長19mm以上×銅線径1.2mm以上の物)で300mm以内にラスの浮やたるみなどの無いよう千鳥に打ち留める。

④出隅及び入隅等の継ぎ目は突き付けとし、200mm幅の共材のラスを中央部から90度に折り曲げ、上から貼り重ねる。また開口部には200mm×100mmの共材のラスを各コーナーにできるだけ近づけて斜めに二重貼りする。

⑤継ぎ目、開口部、出隅、入隅等は、力骨(JIS G 3532 亜鉛メッキ鉄線 線径2.6mm以上の物)を織り込みし挿入してメタルラスを押え込み補強する。その際必ずまたくぎで受け材当たり、継ぎ目周囲は200mm、その他は300mmに打ち留める。又、力骨の重ねは100mmとする。力骨の両端及び交差の箇所も、必ずまたくぎで打ち留め、力骨に囲まれたメタルラスの中央の1箇所も留める。

IV モルデン町場用塗り

標準配合比 : 1袋(25kg) + 水 8.5~10ℓ

標準塗布面積 : 3.2㎡/1袋(25kg) ※塗り厚10mmの場合

練り上がり量 : 32ℓ/1袋(25kg)

可使時間 : 約1時間

1. モルデン町場用塗りに先立ち、あらかじめ墨出し等を行ったコーナービード、定木、又は目地棒などを用いて塗厚をそろえる。コーナービードは壁の四隅に、定木又は目地棒は約2m間隔で取り付ける。目地棒はモルデン町場用塗布後除去し、同じくモルデン町場用で目地詰めを行う。
2. モルデン町場用1袋(25kg)当たり水8.5~10ℓを入れ、モルタルミキサー、ハンドミキサー、手練りにて良く練混する。
3. メタルラス下地に鏝押さえで十分に塗り付け、10mmの下塗とする。この際メタルラスが塗り付けたモルデン町場用の表面に出ていることが無いよう、必要に応じてムラ直しを行う。
4. 下塗り後、望ましくは1週間程度養生期間を取った後、上塗りにかかる。この場合不良の箇所があれば補修しておく
5. 下塗りが乾燥している場合は十分に水湿しをしてから上塗りに入る。定木や目地棒を基準にして鏝押さえで十分に塗り付ける。10mmに印をつけた針金などで塗り厚を確認しながら塗布する。
6. 水引き具合を見ながら不陸なく平滑になるように、定木ずり、木鏝で、鏝ムラ・地ムラが無いよ

う、ちり回り正しくなで上げ、金鏝又は木鏝で仕上げる。仕上げ材の種類によって金鏝・木鏝の選択をする。

7. 塗り厚はアスファルトフェルトの表面から測って20mm以上確保すること。

8. 施工上の注意

- (1) 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行う。
- (2) 施工中及び施工後、硬化前に、降雨、降雪のおそれがある場合は施工を中止する。
- (3) 現場にて砂セメント等を追加混入することは絶対に避ける。
- (4) セメント製品に特有の現象である白華（エフロ）が発生することがありますが、品質には異常ありません。

V 養生

1. 各塗り層共急激な乾燥を避け、十分な水和反応が得られるよう施工後2～3日は湿潤状態で養生を行う。特に夏期では、西日などによる日照りによって急激に乾燥するので、作業前にシート等で覆ってから塗り付けにかかる。
2. 冬季には施工後の凍結を防止する措置を講ずる。
3. モルデン町場用塗り仕上げ後は、他の仕上げ工事などで塗布面が汚染・損傷されないよう適切な養生を施す。
4. モルデン町場用塗布面に仕上げ材を施工する場合は、上塗り施工後10日（冬季14日）以上養生期間を取る。

VI 注意事項

1. 使用上の注意

- (1) 取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・保護マスク等）を着用する。
- (2) 取扱いは換気の良い場所にて行う。
- (3) 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行う
- (4) 使用後の機具類は早めに水洗いする。

2. 応急処置

- (1) 目に入った場合
直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
- (2) 皮膚に付着した場合
直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受ける。
- (3) 誤飲した場合
多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受ける。

3. 保管上の注意

- (1) 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しない。
- (2) 購入した材料は3ヶ月以内に使い切る。

4. 輸送上の注意

- (1) 袋の損傷による内容物の漏れが無いことを確認する。
- (2) 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- (3) 湿気、水濡れに注意する。

5. 廃棄上の注意

- (1) 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

6. 漏出時の注意

- (1) 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋に回収する。
- (2) 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないよう対策を取る。